



川口けいすけの グリーンス川越

編集/発行 川越市議会議員 川口 啓介(無所属)
〒 350-8601 川越市元町1-3-1 川越市役所6F 無所属議員控え室
TEL 070-6998-3687 FAX 049-227-3810 E-mail mail@kawaguchi-keisuke.net

59
since 2003

私の提言政策が実現中！ 市役所本庁舎に続き

川越市立の学校「56校」でもPPS導入！

前回58号でお知らせしました市役所の本庁舎等に続き、市立の学校56校(小学校32校、中学校22校、高校1校)でもPPS(新電力)導入が決定しました。

これまで随意契約により結ばれていた東京電力との電力契約を競争入札に変え、26年2月1日から日本ロジテック協同組合との年間契約が結ばれました。万一契約企業から供給できないような場合も法の定めにより電力供給は東京電力により継続され、市の費用負担もありません。



電気料金 年間約3000万円(約17.5%減)削減見込み！

さらに、資源化センターもPPSに切り替え！



資源化センターでも、東京電力との随意契約から競争入札に変更し、本年1月1日から(株)エネットと年間契約を結びました。これにより約52%の電気料金削減を見込んでいます。さらに、資源化センターの余剰電力の売電先も入札により東京電力からサミットエナジー(株)に変わり、売却額は年間約34%の増を見込んでいます。

電気料金 年間2570万円(約52.2%減)削減見込み！

余剰電力売却料金 年間約3270万円(約33.9%増)増の見込み！

現在、電力自由化の対象となっている電力使用量50kw以上の施設でPPS(新電力)と契約することができます。川越市では100施設以上がこの対象であり、まだまだ多くの施設で切り替えが可能です。市では、削減効果の高い施設から検討を進めたいとしており、今後もPPS(新電力)との契約による経費削減が見込まれます。また、電力の購入にあたって、入札が当たり前になったことも行政改革を進める上で重要な点です。

サービスの質を落とさず経費削減、収入増！